

北海道・東北地方出土の和同開珎

八木 光則

1 北海道～東北地方の出土状況

北海道～東北地方における和同開珎の出土は限定的である。中世備蓄銭をのぞけば、13 遺跡 41 点の出土をみるだけである。このうち北東北の岩手・秋田・青森・北海道に分布するいわゆる末期古墳出土は5 遺跡 10 点、また末期古墳に隣接する茂漁・猫谷地遺跡を加えると7 遺跡 18 点に達し、末期古墳との関わりがもっとも大きい。

出土状況がわかっているものは丹後平 25 号墳周溝から蕨手刀とともに、太田蝦夷森 2 号墳は銚帯や勾玉とともに礫槌主体部から、長根 22 号墳は鋤杖状鉄製品とともに土壙主体部からの出土である。熊堂・西根・茂漁例は出土状況があまり明らかなではなく、点数も定かでない。茂漁は古墳そのものではなく周辺遺跡からの出土で、8 点とも伝えられるが、銭名を確認できるのは4 点である（田村 2003）。

南東北の古墳の二色根 2 号墳は6～8 世紀の副葬品が混在し、追葬が行われたとみられるが、8 世紀の遺物の銚帯や刀装具は北東北の末期古墳と変わるところがない。立林古墳は和同開珎のみの出土が伝えられている。ともに山形県置賜盆地に位置する。

城柵では秋田城跡だけで、城内の堅穴住居跡から2 点、遺物包含層から銀銭1 点が出土している。銀銭は北海道～東北では唯一の出土例である。

官衙では駅家跡に想定されているうまや遺跡で3 基の胞衣壺（坏）の例がある。官衙ともみられている上人壇廃寺が近接する。このほか秋田城では萬年通寶を埋納した胞衣壺も検出されており、東北では城柵や官衙における祭祀のひとつである。

遺跡種別	遺跡
末期古墳	丹後平1・太田蝦夷森1・熊堂6・西根1・長根1
古墳	二色根2・立林1
集落	猫谷地4・河崎柵擬定地2
城柵	秋田城3
官衙	うまや12
備蓄銭	志海苔1・尻八館1・奥内1・猿賀1・大久保1・高木
不詳	茂漁4・潟向 I 3

遺跡の後ろの数字は和同開珎の点数

2 和同開珎の使われ方

和同開珎の使われ方について、その出土状態から考察したことがある（八木 1992）。

- ①流通貨幣
- ②財貨のひとつとして鎮壇具
- ③厭勝銭的に地鎮具・胞衣壺や火葬墓に埋納
- ④地域首長の権威の象徴として古墳に副葬

貨幣として流通していた範囲は限定され、畿内と近江国を中心に伊賀・伊勢・播磨国にほぼ限定される。財貨のひとつとして玉類や鏡、金銅製品とともに銭貨も鎮壇具に用いられた例は興福寺金堂基壇や靈安寺塔心礎の鎮壇具などが著名である。また厭勝銭は悪霊除けとして胞衣壺や地

鎮具、火葬墓に埋納された。

古墳に副葬される和同開珎は財貨や厭勝銭としての意味もあったろうが、和同開珎を所有することによって地域首長として権威付けることが行われていた。末期古墳の被葬者は蝦夷社会の地域首長層であるが、彼らは8世紀には上京朝貢を行い、朝賀に参列していた。引き替えに饗給を受け、外位叙位、公姓賜姓、和同開珎を含む品々の禄物を受けていた。それらの有形無形の玉権との結び付きを示すものは、地域支配の象徴として有効に利用された。

その後古墳がつくられなくなり、和同銭が新銭におきかわる9世紀には、蝦夷の朝貢は入朝ではなく地方官衙朝貢が重要な位置を占めるようになる。この結果、平安時代の隆平永寶以下の銭貨が蝦夷社会にもたらされることは少なくなった。9世紀は北上盆地以北の蝦夷社会は城柵の設置という大きな変革期にあたり、和同開珎が持っていたような性格が必要とされなくなったのである。

南東北の古墳での出土例がある置賜地方は、8世紀の古墳が多く確認されている地域であり、また蔵手刀も集中している。この地域は4世紀以降から古墳の造営が行われ、6世紀には横穴式石室を受容した地域で、北東北の末期古墳とは歴史的背景が異なるが、和同開珎は首長の所有物であったのであろう。なお南奥羽では有位者が多く、和同開珎の象徴性は北奥羽ほど高くなく、より財貨的意味合いが強かったものと思われる。

城柵や官衙関連は秋田城跡とうまや遺跡があるだけで、意外に少ない出土である。

〔引用文献〕

田村俊之 2003「恵庭市出土の和同開珎」『出土銭貨』第19号

八木光則 1992「和同開珎と蝦夷」『岩手史学研究』75

〔図版出典〕

恵庭市教育委員会 1966『恵庭遺跡』

宇田川洋編 1984『河野広道ノート』考古篇5 北海道出版企画センター

田村俊之 2003「恵庭市出土の和同開珎」『出土銭貨』第19号

八戸市教育委員会 2002『丹後平古墳群』八戸市埋蔵文化財調査報告書第93集

盛岡市教育委員会 1997『上田蝦夷森古墳群・太田蝦夷森古墳群発掘調査報告書』

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1994『長根 I 遺跡発掘調査報告書』

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第146集

岩手県立博物館 1990『岩手県熊堂古墳群・浮島古墳群発掘調査報告書』

岩手県教育委員会 1982『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XVI（猫谷地遺跡）』

岩手県文化財調査報告書第71集

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2006『河崎の柵擬定地発掘調査報告書』

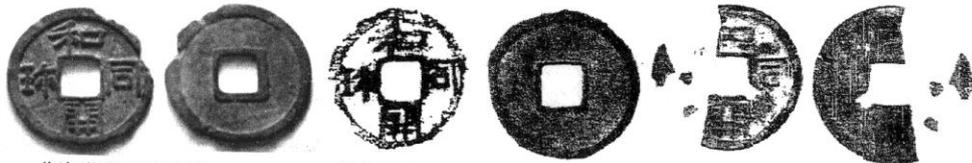
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第474集

秋田市教育委員会 1995『平成6年度秋田城跡調査概報』

秋田市教育委員会 1991『平成2年度秋田城跡発掘調査概報』

秋田市教育委員会 1978『昭和52年度秋田城跡発掘調査概報』

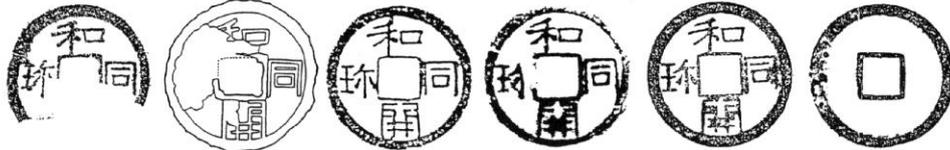
柏倉亮吉 1953『山形県の古墳』 山形県教育委員会



北海道恵庭市茂漁
(個人蔵)

北海道恵庭市茂漁
(旭川市立博物館蔵)

北海道恵庭市茂漁
(旭川市立博物館蔵)



青森県丹後平
25号墳周溝

岩手県太田蝦夷森
2号墳主体部

岩手県長根
22号墳主体部

岩手県熊堂

岩手県猫谷地
Ce68 住居跡

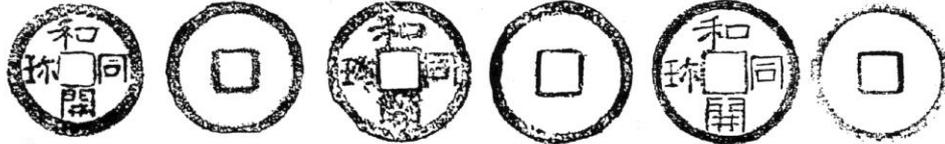


岩手県猫谷地
Ce68 住居跡

岩手県猫谷地
Ce68 住居跡

岩手県河崎柵擬定地
SI 1 住居跡北西貼床

岩手県河崎柵擬定地
SI 3 埋土



秋田県秋田城跡
鶺ノ木地区表土

秋田県秋田城跡
SI1051住居跡

秋田県秋田城跡
SI306 住居跡



山形県立林古墳

北海道～東北出土の和同開珎 (縮尺 1:1 拓本の肌部分は修正)